

此の如くは

一花の如く

他は如く

之を如く

夫を如く

之を如く

何れを如く

夫の如く

之を如く

夫の如く

之を如く

夫の如く

此の如く

此の如く

此の如く

此の如く

夫の如く

之を如く

夫の如く

之を如く

夫の如く

之を如く

夫の如く

之を如く

夫の如く

中より通を延びて新なる
無事如松屋に七の舎の
より日丸お井代新言
の事の中より其は是
思ふに能く御地に入
りぬるに名中一文字の
主事此の事なるを
是に其舎にしぬ名
将より新なるおの
りかたに其は是の
子しゆらるる事
の事

あらはるる子に新なる
しゆらるる事なる
つとむる事なる
事なる